議事録・議事概要

審議会等の名称	阿見町地域包括支援センター運営協議会 阿見町地域密着型サービス運営委員会
開催日時	令和6年8月2日（金）午後2時から
開催場所	本庁舎 3階 301会議室
出席者	委員 12名（欠席委員 1名） 事務局 9名（うち阿見町社会福祉協議会・阿見町地域包括支援センター 4名）
公開・非公開の別	公開
議事結果	<p>第一部</p> <p>（事務局）令和5年度阿見町地域包括支援センター事業実績報告、収支決算について説明</p> <p>（議長）事務局の説明について何か質問等はあるか。</p> <p>（委員）虐待と判断したケースが4件ということで、どこから相談があって、どのようにアプローチするのか。</p> <p>（包括）虐待通報が一番多いのは警察からの通報票であり、そのほかは医療機関や本人・親族が直接役場に相談することもある。虐待と判断したケースについては、例えば被虐待者をどのように自宅から避難させるかなどを町と協議をし、必要に応じて近隣の施設にショートステイをお願いする対応をしている。分離を希望しないケースの場合には、介護保険サービスの導入を行い、第三者の目を入れつつ、包括でも進捗状況を確認しながら対応している。</p> <p>（議長）生活支援体制整備事業の日常生活支援協議会が、予定通り3月にできなかったことについては問題ないのか。</p> <p>（事務局）委員の都合が合わず4月の開催になったが、特に影響はないと考えている。</p> <p>（議長）阿見町のケアマネジャーの数は増えているのか。</p> <p>（包括）居宅介護支援事業所の数自体は少しずつ増えているが、一人ケアマネの事業所やケアマネの入れ替わりも多く、大幅に増えたという印象はない。ただ、全国的にケアマネ不足と言われており、阿見町でも予防の方の委託先を探すのに苦慮している状況である。</p> <p>（議長）昨年度の結果を踏まえて今年度重点的に考えていることは</p>

	<p>あるか。</p> <p>(事務局) 令和 5 年度の第 2 回の協議会でも申し上げたように、令和 6 年度は認知症総合支援事業の充実と、介護保険法の改正に伴い介護予防支援体制の対応に取り組んでいく予定である。認知症の総合支援事業については、令和 7 年度にチームオレンジという認知症の方が地域で住みやすいようにチームで支援していく取り組みを開始するために、令和 6 年度は準備を進めている。11 月にはすでにサロンなどの通いの場でボランティアなどをされている方等を対象にした講座を開催すべく、包括と町で計画を立てている。</p> <p>(委員) 去年から始まった認知症相談会は、とても良好だったと思う。包括の存在がなかなか住民に認知されずに、社協の中にあることは分かってどこに電話したらいいのか、包括の役割など理解できていないのが実情。そのなかで、出張として各公民館でやってくださることは非常にいいと思う。実際に相談とならなくても、その場で住民が得た情報を地域に帰って地域の住民に話して広めていくこともあるので、とてもいい取り組みである。</p> <p>(委員) もう一つ。虐待の通報や申出に関して、同じ時期、1 年間で何回も同じ方の事例が出てくることはあったのか。また、虐待でないと判断した事例があったら、具体的に教えていただきたい。</p> <p>(包括) 同じ方で複数回の相談というのはある。例えば、分離しているが分離した状態での相談であったり、なかなか方針が定まらず家族の方と何度かやり取りをするケース、対象の方が入院中で退院先をどうしていくかという相談などで相談回数が増える。また、警察署からの虐待通報票に関しては、ここ最近で多いのがご夫婦でそれぞれに手を出して、2 枚の通報票があがるケース。このような場合、同じ方について 1 年間で複数の事例が発生するということになる。</p> <p>(議長) 以前に比べてケースが複雑になっているように感じる。判断に迷っているうちにひどいことになることもある。権限のある方が判断を早くしてほしい。間違った判断であったとしても、安全を担保するための対応だったと説明すればいいだけだと思う。</p> <p>(議長) 他に質問がなければ、次に進みます。</p>
--	---

	<p>(事務局) 地域包括支援センターの事業評価指標 (町・センター) について説明</p> <p>(議長) 事務局の説明について何か質問等はあるか。</p> <p>(委員) 16 ページの 57 番について、今まで開催が難しかったところについて、いろいろと協議いただいて開催できたというのはとてもよかったと思う。ひとつ教えてほしいのが 15 ページの 33 番について、私も担当していて会議はおこなっているが、会議を実施しているから A 評価ではなく、そのための研修をしていないから C 評価ということなのか。</p> <p>(事務局) センター職員を対象として研修そのものを行っているかということだが、町の方で研修を手配するということはできていないため C 評価としている。</p> <p>(委員) わかりました。私も担当しているので、協力できることがあればすぐにできる。何かあれば言っていただきたい。また、もしかしたら実態では何かやっているのではないかとも思う。例えば、実際には我々担当者が県に行って勉強したりということもあるので、直接町の職員ではなく、そのような機会を設けているので C 評価ではないのではという印象である。</p> <p>(議長) 状況に応じて不十分だとしても B 評価など、評価を見直していただきたい。事業評価というのは、国が求めているものなのか。</p> <p>(事務局) 求めているというか、国の方で指標を定めている。また、来年度から指標が変わるという考えも示されている。</p> <p>(議長) 数年来課題になっている夜間休日の窓口について。一部事業所などに委託しているところもあるようだが、なかなか人的リソースの問題などで実施できていないというところか。</p> <p>(事務局) 夜間休日の窓口について、先進的な自治体の取り組みを参考に町で委託を考えており、仕様書の作成を行っている。ただ、まだ委託先について明確でないため、もう少し内部で検討して前に進めていきたいと考えている。</p> <p>(議長) 他に質問がなければ、次に進みます。</p> <p>(事務局) 予防給付マネジメント業務の委託事業所の状況について</p>
--	---

	<p>説明。</p> <p>(議長) 事務局の説明について何か質問等はあるか。</p> <p>(議長) 柏の事業所については、住所がわが町にあるが実際に住んでいるところが柏なので、という理由だったかと思うが。</p> <p>(包括) こちらの対象者については、要支援から要介護になったということから契約が終わっている。</p> <p>(議長) 今住んでいるところに住所を変えてほしいと言うことはできないのか。</p> <p>(包括) このケースに関してはいろいろな事情があり移せなかった。</p> <p>(議長) 全体を通してでも、なにか質問はあるか。</p> <p>(委員の意見なし)</p> <p>(議長) なければ終了とする。</p> <p>以上で、終了。</p> <p>第二部</p> <p>(事務局) 令和 5 年度地域密着型サービスの現況等、令和 6 年度の事業について、町内の地域密着型サービス事業所の状況を説明。</p> <p>(議長) この件に関して質問はあるか。</p> <p>(議長) 指導監督というのを町内の事業所に行くというのは、どのようなことを行うのか。</p> <p>(事務局) 事業者の運営や人員、設備の状況などを確認することで、サービスの質の確保と利用者の保護、保険給付の適正化を図ることを目的として実施している。</p> <p>(議長) 定期的に各事業所を回るということで、何か問題があったからというわけではないのですね。</p> <p>(議長) そのほか、質問はあるか。</p> <p>(委員の意見なし)</p> <p>(議長) 質疑はないか。なければ終了とする。</p> <p>以上で、終了。</p>
--	--